

委員長の中間的見解

委員長 佐藤淳一

当委員会では、これまで開催された第1回～第3回の委員会の中で、「村山市の児童数の急激な減少」「学校の長寿化と村山市の学校」「学校規模と子どもの教育」という3つの視点から「将来の小学校の在り方」について検討してきました。

それぞれのテーマ毎に、教育委員会から学校の事情や教育委員会の考えを示して頂くとともに、現場の先生方を招聘し、現在の村山市の学校の様子や将来の学校の在り方についてご意見を伺ったり、代表の委員の皆様方からは、それぞれの立場から将来の学校の在り方についてのお考えを提案して頂いたりしてきました。

それを基に、各回、グループ討議や全体討議を通して、テーマに対する委員の皆様方の貴重なご意見を頂いてきました。

本日は、「地域と学校」というテーマで委員の代表の方々から発表を頂き、それを基に話し合いをすることになっていますが、さらに「村山市の10年後の小学校はどのようにあればいいか」といったところまで具体的に検討内容を深めていって頂きたいと考えております。

そこで、一応今までの話し合いを振り返りながらまとめをし、それに基づいて今日のテーマの検討してみても、と考えておりますので、ここで私の方で中間的な見解を大まかにまとめさせて頂きたいと思えます。

まず、第1回の委員会では、教育委員会より「村山市の児童数が5年後の令和7年度には現在の児童数より約130人ほど減少し、7校中3校で複式学級が生じることが予想されること。また、現在の状況を考慮すると、その後の5年間ではさらに急激に減少が進むのではないかと考えられる、などの予想が示されました。

続いて、第2回の委員会では、「校舎の老朽化と存続に向けた予算的課題について」話し合いをしました。

教育委員会からは「学校施設長寿化計画」に基づいて学校施設の存続を図っていきたいと考えている旨説明を頂きました。

計画の中では、学校施設の今後の老朽化の事情を詳しく説明頂くとともに「村山市立小学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針」や「改修等の基本的な方針」についても説明頂きました。

現在の市内7つの小学校を、今後老朽化に伴って、随時新築あるいは改築といった方法で対応していくことは予算的に極めて困難であるため、施設の長寿化を図り対応していく予定であるとのことですが、長寿化による施設の保全・更新をしても今後10年間で25億円に及ぶ予算が必要になることが予想され、大きな財政的負担が生じることになります。

このことを受けて、委員の皆様からは、「大変難しい問題であるが、財政的に可能であれば、現状を維持しながら、地域の子どもたちを大切に育ててほしい。」という意見などが出されましたが、一方で「学校関係施設の経費増大を考えた場合、学校の適正規模を考慮した上で統合を進めていかなければならないのではないか。」という意見が出されました。

3回目の委員会では、第1回のテーマと関連させながら、「学校規模と子どもの教育」をテーマに話し合いました。村山市では大規模校、小規模校ともに、それぞれの地域の特徴を生かしながら、ともにそのメリットを生かし充実した教育実験が行われ大きな成果が収められており、規模により教育の差はないとの理解が得られました。

各委員からは、「小学校は地域の要なので存続の方向で進めてほしい。」という意見が出されましたが、「子どもたちにとって何が一番良いかを第一に考えて、できるだけ早い統合を希望したい。」という意見も出されました。

以上、各テーマに関して委員の方々から出された意見を本当におおざっぱにまとめさせて頂きましたが、子どもたちはもとより、保護者の皆様、地域の方々すべてにかかわる大変大きな問題で、すぐに答えを出せるわけではありません。改めて、将来の学校の在り方に対する考え方の多様性がはっきりしてきたと言えるかもしれません。

しかし、この委員会が回を重ねるごとに、村山市の学校教育の現状や将来に向けての様々な課題が理解され、自由闊達に意見を交換できる素晴らしい場になってきているのではないかと考えています。

先ほど申し上げましたとおり、今日は「地域と学校」というテーマで検討して頂くわけですが、さらに話し合いを具体的にさせていただき「村山市の10年後の小学校はどのようにあればいいか」といった内容まで話し合いを深めていただければと思います。

そこで、事務局から、今後の村山市の小学校配置の在り方の可能性として、いくつかの選択肢を示していただき、それに基づいて話し合いをお願いしたいと思います。今日いただいたご意見については、今後作成する「将来の小学校の在り方に関するアンケート（仮名）」に十分反映させていきたいと考えております。このアンケートは当委員会答申に関わる大切なものになります。ぜひ忌憚のないご意見を聞かせ頂ければと思います。

よろしくお願ひいたします。

事務局案

今後の村山市の小学校配置の在り方の
可能性として想定される基本的な選択肢

- 1 今後も可能な限り、現在の7校を維持する。
- 2 将来、楯岡中学校区1校、葉山中学校区1校に統合する。
 - ①楯岡中学校区（全て地域懇談会での合意を経て）
 - 1) 順次、楯岡小学校に統合
 - 2) 同時に楯岡小学校に統合
 - ②葉山中学校区（全て地域懇談会での合意を経て）
 - 1) 近隣の学校から統合し、最終的に1校に統合（段階的）
 - 2) 同時に既存の1校に統合
 - 3) 同時に新しい学校に統合
- 3 将来、市内1校に統合
 - ①楯岡中学校区、葉山中学校区 各1校を経て
 - ②同時に1校に統合
- 4 その他・・・